



全国SSH生徒研究発表会でポスター発表賞を受賞！

8月7日（水）～8日（木），神戸国際展示場でSSH生徒研究発表会が開催されました。本校からは環境科学科3年生の山木大馳さん，脇本総志さん，楠本廉さん，新谷翔汰さんの4名が「紀ノ川下流におけるワンドの存在が魚類にもたらすものとは」というテーマで参加しました。7日（水）に行われるポスター発表の際に審査され，さまざまな賞が決定されます。また，代表校に選出されると，2日目の全体会で口頭発表をすることができます。本校は令和4年度に「V L B」の民間化に向けた観測機の作製」というテーマで「生徒投票賞」を受賞したことしかありませんでしたが，今回「ポスター発表賞」を受賞しました！



以下，発表した環境科学科3年生の感想です。

「各校の発表者は自分たちの研究に自信を持ち，そして何より楽しそうに取り組んでおり，ポスター発表を聞いているだけでその思いが伝わってきた。将来，このような志高い研究者と一緒に研究したいと思える2日間だった。」

「同じ分野で研究している人とも交流することができたのも良かったです。こんなに多くの人の前で発表する機会はそうそうないので，本当に良い機会となりました。」

「全国の方々に研究の成果を伝えられる貴重な機会に，悔いなく発表を行うことができて良かったです。」

「大会の規模やまわりのレベルの高さに驚かされた。特に，研究テーマや話す内容が興味深く，参考になる部分がたくさんあった。」

また，見学団として環境科学科1年生6名，環境科学科2年生6名の計12名が参加しました。

以下，見学団として参加した生徒の感想です。

「高校生でもこんなにも深く研究ができるのだということを知って驚いた。先輩の代から続けてきた研究もあったが，一人ではたくさんのデータをとっているような人もいた。今後研究するのが楽しみになった。」

「普段できないようなことを聞くことができました。いつもの授業では公式や例題に沿っていったりするのが当たり前だけれど，どの学校の人も似てないというか，一人ひとりその調査をするにあたっての個性があってどれもとてもおもしろかったです。」

「はじめて全国レベルの高校とたくさん触れ合えてとても感銘を受けた。今後の研究に活かしたい。」

「さまざまな分野の研究の話を聞けてとても楽しかった。実際に自分がSSHの課題研究でやっている内容に関連しているものなどもあって，ためになったし，視野が広がったと思う。」

